

「鵜沼の緑と景観を守る会」機関紙

鵜沼の緑

みどり

10月例会・報告

発行 藤沢市鵜沼地区「鵜沼の緑と景観を守る会」

(略称:みどりの会)

事務局 代表 北村裕彦(携帯090-9836-5157)

10月例会および学習会報告

10月例会は10月16日(日)15時から鵜沼公民館で行われました。出席者16名、司会古山幹事、書記佐藤幹事。恒例の「高木ふれあい荘」の清掃は雨のため中止しました。

10月例会報告

1 台風被害の状況

台風15号(9月21日)襲来による鵜沼地域の被害状況の報告あり。鵜沼松が岡公園の松の大枝と小枝は数十本折れましたが、松の倒木はなかったとのこと。大枝は2箇所山積みとなり、松葉、その他のゴミは120袋となりました。藤が谷公園では2本が倒木したそうです。いずれにせよ自然災害にむけて日頃の心構えと対策が必要なことを痛感しました。

2 湘南藤沢文化ネットワーク主催「藤沢駅北口まつり」出展参加

10月1日～2日と2日間にわたって、藤沢駅サンパール広場で開催されました。この祭りの目的は「湘南藤沢歴史文化・景観おたからさがし」と称して、各所属団体が展示出展することです。この企画は「地域住民、所有者が知る」活動を展開し、地域の歴史的建造物、庭園、景観への関心や意識を高めることにある、とあります。当みどりの会から4名が参加(北村代表、中島・戸井田・廣田の幹事のみなさん)。旧後藤医院の報告書やDVDを展示販売しました。

3 藤沢市史講座「関東大震災と藤沢」

10月1日から22日まで4回にわたって労働会館で開かれました。

講師は横浜開港資料館研究員・松本洋幸氏。1回と2回に当会員2名が出席しました。

「当時の映像を交えた有意義な内容で、なかでも海岸部への植林は津波の被害を抑えるのに効果があるという話が印象に残った」との感想が寄せられました。

講演の後、津波対策について話し合いました。藤沢市としては今のところ旧江の島水族館跡地に高さ25mの避難所を建てるという構想があるそうです。

また鵜沼公民館近隣の人々からは公民館を建て直して

もっと高層にして欲しいという要望もあるそうです。

いずれにせよ公共用地を出来るだけ利用してほしいということです。



4 村川邸百歳見学会+シンポジウム

鶺沼松が岡公園の元所有者村川さん(当会会員)から下記のご案内がありました。村川邸(目白台)は国登録有形文化財になっています。ご承知のように村川邸(村川家住宅)は西洋史学の第一人者として知られた村川堅固・堅太郎氏父子が住んでおられた家です。1911年(明治44年)に建てられたもので、今年で百歳となるのを記念して見学会とシンポジウムが企画されました。

○11月3日(木) 東京都文化財ウィーク見学会 公開時間 13:00~15:00 料金500円

○11月5日(土) 東京都文化財ウィーク見学会 公開時間 10:30~12:30 料金500円

○11月6日(日) 村川邸見学 1回目 10:30~11:30 <各回の定員は15名>

2回目 11:30~12:30

3回目 13:30~14:30

シンポジウム 場所 目白台図書館

時間 15:00~17:00

講師 村川夏子氏 長島孝一氏(日本建築家協会名誉会員)

*当会から1~2名参加する予定です。

5 その他

① 鶺南みどり会の親子ウォーキング

11月23日(水)に実施されますが、順路などは当会の中島幹事が企画、賀来神社・土地の遺跡の説明は北村代表が担当。

② 市民活動推進センター

市民活動推進センター発行のボランティア雑誌に高木ふれあい荘の清掃ボランティアの募集記事が載っています。当会会員が毎月1回の清掃(第3日曜日9時半~10時半)に数名参加しています。ご都合のつく方はぜひご参加下さい。

また、推進センターでは10周年を記念して12月23日にシンポジウムを開催する予定です。

③ 有賀市議の話

9月市議会での一般質問を中心に報告がありました。

*自転車の駐輪や事故対策について

*引地川や境川の環境保全について

*大震災以後、辻堂地区では風致地区の見直しが強く出ている。特に引地川沿いの住民からは公共施設だけでは間に合わないという声があがっているそうです。



これに対し、みどりの会として、風致地区の保存や住民協定への対応を市に対して要望していく。また、うわさ話に振り回されないようにしてほしいなど話し合いました。



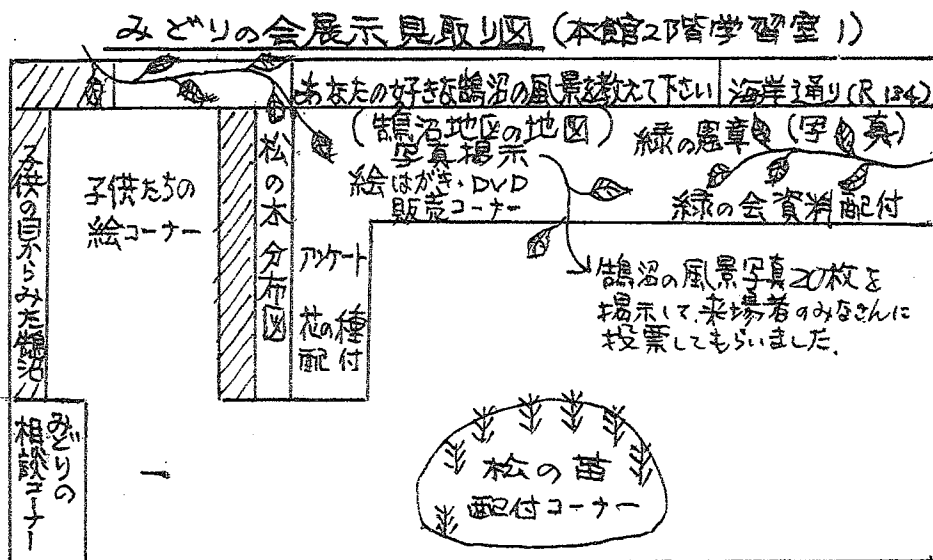
公民館まつり報告

今年も公民館まつりが、10月29日(土)・30日(日)の2日間行われました。みどりの会は「鶺鴒の緑を守ろう」というテーマを掲げて参加しました。出展内容や展示見取り図、見学者のスナップ写真をご覧下さい。

◇出展内容◇

- *子どもたちが描いた鶺鴒のみどりのある風景(62枚)
- *鶺鴒地区の松の分布図と風景写真
- *絵はがきの販売
鶺鴒の花・鶺鴒のみどり
鶺鴒の海(各6種類)
- *松の苗木(30本)・草花の種の無料配布
- *みどりの相談コーナー
(廣田さん 当会幹事
長久保公園みどりの相談員)

<展示見取り図>



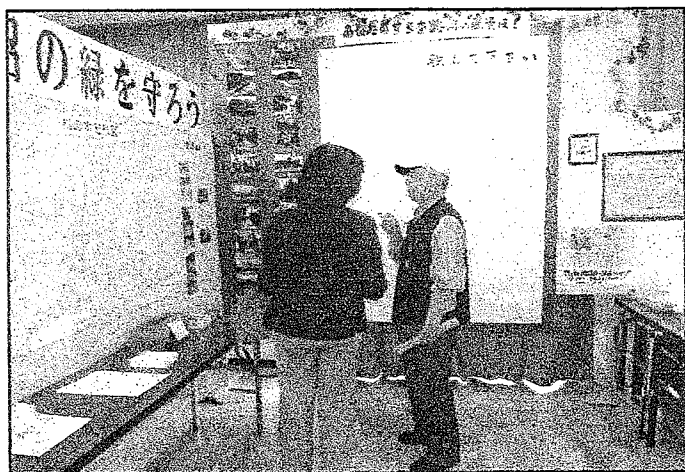
私たちの絵 見てね!



資料・絵はがきをどうぞ



あなたの好きな風景は?



みどりの相談



◆声 欄 ◆ 会員のAさんから北村代表に届いた便りです。なんともほほえましいので掲載します。(1部略)

北村様

お世話様です。会費の納付を失念しておりました。申し訳ございませんでした。

さて、鵜沼の象徴は高い松の木と玉石垣と申しますが、この垣の出来具合は千差万別です。植木屋さんによっては苦手意識をもっていらっしゃる方もあると聞いております。一方、このために散歩しながら甲乙丙を付ける楽しみがあります。私がいつも素晴らしいと感じるのは海岸通り(大曲り)のテニスコートから50メートルほど海より、右に折れると旧NTT独身寮へ向か坂道の角にある玉石の垣です。熊本城の石垣の様に、武者返しのような見事な反りが入っている上、玉石と玉石との間のセメントまでも丁寧な仕事なされています。一方、玉石がでこぼことなりいかにも苦手な庭師さんが作ったのだろうなというの、ところどころに見受けられます。

これもまた個性。鵜沼散歩を楽しくしてくれます。

暑い日が続きます。ご自愛くださいませ。

(みどりの会会員 A)

【五友会住民協定】締結のお知らせ (前号のつづき)

五友会のまちづくりについて

「住みたい」と思い続ける住環境のために

五友会では、2008年に街づくり委員会を発足し、私たちの住むこの地域の10年、15年後の街づくりのためにはどんな活動が必要になるかを検討してきました。

2009年に、全所帯に広く生活意識を訪ねる調査を行った結果、緑と木々に囲まれた鵜沼らしい街並を維持することに、過半数の高い意識があることを共有しました。

続く2010年には、ボランティアを交えて専門のチームを発足し、街並みについての現状や関心、具体的な取り組みについて掘り下げるアンケートを通じて「地域からの意志表示としてのルールが必要」との結論に至りました。

「なにもなければ住民も行政も事業者も住環境を守れない」「しかし、この時勢にはどんなルールがどんな効果を出すのか」などの議論を重ね、2011年の8月に、住民の合意署名に基づき、長らく鵜沼をつくってきたこれまでのルールを改めてまとめて地域の総意として内外に伝える『住民協定(地域の約束事)』を締結しました。

・・・以下次号へ・・・

♡ 11月日程のお知らせ ♡

編集会議	11月9日(水) 15:00~
広報印刷	11月11日(金) 15:00~
例会	11月20日(日) 15:00~
懇談会	「公民館まつりを終えて」
高木ふれあい荘清掃	11月20日(日) 9:30~
0邸清掃	11月25日(金) 9:30~
幹事会	11月26日(土) 10:00~

☆編集係より☆
先日、公民館学習グループの仲間が田舎(山口県岩国市)の銘酒を持参してくれました。銘酒は獺祭。獺はカワウソのこと。どうして獺祭なのか説明するときはありません。この銘酒を仲間と味わいながら秋の夜を楽しみました。そういえば最近、やたらと動物のニュースが多いですね！
どしよう、さる、くま、アザラシ、パンダ・・・